

上条 報告

第79号
平成27年 12月

甲州市教育委員会
☎32-5076

歴史的風致維持向上計画 協議会が発足されました

甲州市教育委員会文化財課では、本年度より「歴史まちづくり法」（以下「歴まち法」と言う）に基づき「歴史的風致維持向上計画」の策定に取り組んでいます。市町村が策定するこの計画が国から認定されると、まちづくりに対して国から支援を受けることができます。このたび、この計画について、審議・協議していただくための協議会が発足されました。十一月二十六日には委嘱式と第一回目の協議会が開催されました。

協議会は、学識経験者、地域で活動する市民団体及び市役所関係部局の代表者で構成されています。計画のなかでは、重点的に各種事業を行う区域をいくつか設定します。この区域のひとつとして上条集落を中心とした神金地区を想定していますので、上条地区保存会の代表として中村一仁様に協議会の委員をお願いしました。

十一月は上条集落を見学する団体が多くありました。さらに、YBS山梨放送の「ててて！TV」に上条の様子が放送され、認知度の高まりを感じます。

甲州市歴史的風致維持向上計画

協議会 委員委嘱式・第一回協議会の開催

県内に五つある国宝のうち、三つが市内にあります。今もなお色濃く残る歴史は、先人が私たちに引き継いでくれた地域の宝です。私たちはこの宝を後世へ引き継ぐ責任があるのだと思います。この手助けをしてくれるのが「伝建」や「歴まち法」の制度です。

十一月二十六日に表題の委嘱式と協議会を開催しました。委員には、上条の伝建でもお世話になっている工学院大学の後藤先生、山梨大学の先生や区長会、農業委員会、観光協会の各会長、塩山・勝沼・大和で活動する市民団体の代表者、市役所関係部局の課長で構成されています。委員委嘱式に引き続き行われた協議会では、甲州市歴史的風致維持向上計画の策定の進捗状況について説明し、委員の皆様よりご質問やご意見をいただきました。

市が策定した維持向上計画が、国から認定されると、国土交通省、文化庁、農林水産省から街路（道路）や建造物、水路などの修理・修景・整備に対して支援を受けることができます。上条でも伝建関係でいただける補助金以外の部分について活用できると考えています。例えば、ガイダンス施設の整備や無電柱化などの事業を国の補助を受けて行うことができます。



写真1 委員 委嘱式の様子



写真2 協議会の様子

十一月のいきい

【川崎市立日本民家園のボランティアグループ「炉端の会」が上条の見学にいらっしやいました】

十一月九日・十一日・十三日の三日間にかけて、「炉端の会」が上条の見学にいらっしやいました。民家園には、中子沢から移築された「旧広瀬家住宅」があり、平成二十三年には見学会で民家園にお邪魔しました（その時の様子は「上条報告第三十一号」に掲載してあります）。そんなご縁もあり、園外研修旅行で上条の見学にいらっしやいました。

三日間でなんと延べ約百五十名！大型バスで五十名づつの参加でした。上条の風景に感動されている様子がとても印象的で、旧広瀬家住宅の説明に、上条の説明も加えます、とおっしゃる方もいらっしやいました。

【川崎市立日本民家園のコロガキ】

今年もコロガキの季節がやってきました。甘草屋敷でもコロガキを干していますが、この風景が民家園でも見られます。

市の観光交流課で甲州市の甲州百目柿を提供し、民家園で皮むきイベントを行ない、園内の公開民家の軒先に吊るしています。こんなところでも民家園との交流があります。



写真3 「炉端の会」見学の様子



写真4 民家園に干されるコロガキ

【山梨県立産業技術短期大学校の学生さんが上条の見学にいらっしやいました】

産業短大・観光ビジネス科のツーリズムビジネスコースでは、「伝統文化体験教室」という講義のなかで、山梨県内の歴史的建造物や風景を楽しみながら歩けるフットパスコースを提案し、そのホームページの作成に取り組んでいます。

この講義のなかで、プロジェクトメンバーの学生さんが、十一月十七日に見学にいらっしやいました。二十歳前後の学生さん、さすが若いだけあって、福蔵院からの見学ルートを息を切らすことなくスイスイと歩き切っていました。観音堂の中で木食白道や百観音像の説明を熱心に聞いていたようでした。

今回の成果は、ホームページにまとめ、来年三月の成果発表会で発表するそうです。若者が上条のどんなところに関心や興味をもったのか、楽しみに待ちたいと思います。



写真5 産業短大「伝統文化体験教室」上条見学の様子

【「ててて！TV」で放映】

YBS山梨放送の平日夕方番組「ててて！TV」十一月二三日の特集コーナーで、晩秋の古民家ぶらり旅、として上条の様子が放送されました。

祝日でしたので県内の多くの方が番組をご覧になったのではないのでしょうか。上条の温かい雰囲気が出ていて、とてもよかったですと思いました。



【お知らせコーナー】

文化講演会 フランスシルクの危機を
甲州市産蚕が救った！

江戸末期から明治初期に甲州市内で生産されたとみられる蚕種紙「青龍」を発見した長野県の個人研究家、鶴田章氏を講師に迎えての文化講演会です。

日 時 十二月五日(土)

開場午後一時 開演午後一時半

場 所 勝沼防災センター

参加費 五百円(資料・飲み物代)

参加申込み 「青龍会」事務局

☎〇九〇-二二六五八四五〇

大和の歴史的風致散策

甲州市の歴史を知っていただくための「歴史的風致散策」を開催します。今回は、大和地区をご案内します。

日 時 十二月二十日(日)

午前九時〜午後三時

集合場所 甲州市役所大和支所 駐車場

参加費 無料(保険代を当日徴収)

参加申込み 文化財課 ☎三二一五〇七六

※風食をご持参ください

上条の秋の風景

